

学年・領域	第1学年
単元名	二十歳になった日

○指導に生かす評価…目標の達成のために、個の学習状況（C評価）を把握し、必要な指導や支援を行うための評価
 ●記録に残す評価…目標の達成状況が適切に見取れる場面で、全員分の記録を残し、評定に用いる評価

1 単元の目標

- (1) 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
 [知識及び技能](1)ウ
- (2) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。
 [思考力、判断力、表現力等]C(1)エ
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
 「学びに向かう力、人間性等」

2 単元の評価規準 ※省略

3 指導と評価の計画（全4時間）

○・・・指導に生かす評価 ●・・・記録に残す評価

時間	主な学習活動・内容	知	思	態	評価規準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> 「随筆」の定義を確認する。 単元の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 作品を通読し、話の大体を捉える。 作品の構成を確認する。 印象に残った表現を見つけ、その理由を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 筆者独自のものの見方や感じ方を捉え、語感を磨きながら、随筆の構成や表現の効果について考えよう </div>			○ C エ	・「現在→過去の回想→現在」という構成になっていることを捉えると同時に、印象に残った表現とその理由を考えている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 心情を表す語句や表現などに着目し、筆者が「二十歳になった日」に感じたことを挙げる。 	●	(1)ウ		・心情を表す語句や表現に着目し、意味を調べたり類義語と比較したりして、感じたことを言語化することで、語感を磨き語彙を豊かにしている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 前時読み取った筆者の思いや考えが、「どう書かれているか」に着目して、構成や表現の効果を考える。 各自が見つけた構成・表現とその効果を語り合い、共有したり整理したりする。 			●	・具体的な記述を挙げながら、筆者の思いや考えとつなげて、構成や表現の効果を考えている。
4	<ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返り、印象に残った表現や随筆の特徴、随筆を書くときに生かしたいことを整理する。 			● C エ	・進んで構成や表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方や感じ方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。